

「いのちに 国境はない」

—報道の见えない壁のむこうで
イラクでは何がおきていたのか—

記念講演 高遠菜穂子さん

日時

2006年

7月5日(水)

開場:午後6時半

開演:午後7時

場所

メイシアター

中ホール(阪急吹田駅前)

入場

無料

どなたでも
参加できます



2004年大江健三郎さんや井上ひさしさんが、日本国憲法を守るという一点で手をつなごうと、「九条の会」を結成し、今、全国で地域・職場・分野ごとに5000を超える「九条の会」が誕生しています。

戦時中、私たちの先輩たちは、軍隊に召集された方のお宅に赤紙(召集令状)を送るというつらい仕事をしなければなりません。戦後、「二度と赤紙を配らない」と誓った自治体労働者の原点に立ち返り、平和憲法を守る運動を組合員・職員をはじめ、はばひろい市民のみなさんと共にすすめる「吹田市役所九条の会」を結成します。

みなさんのご参加をお待ちしております。

オープニングには、職場九条の会
パフォーマンスを行います。

高遠菜穂子さん

プロフィール

(イラク支援) ボランティア。1970年1月14日北海道千歳市出身。麗澤大学外国語学部英語学科卒。卒業後、東京で1年間のOL生活。退職後は、学生時代に語学留学していたアメリカへ。黒人解放運動の田尻成芳氏の元を訪れ、生き方について考える。24歳の時にカラオケボックスを開業。30歳を機に仕事を辞めてからは、インドのマザーテレサの施設や孤児院、タイ、カンボジアのエイズホスピスでお手伝いを続ける。2003年3月にイラク戦争が勃発し、ブッシュ大統領の「大規模戦闘終結宣言」が発表された5月1日にイラクに初入国。NGO

と共に病院調査、医薬品運搬、学校再建などを行う。後半は路上生活する子どもたちの自立支援に取り組み始める。2004年4月、4回目のイラク入国の際にファルージャ近郊でイラクの抵抗勢力に拘束される。2004年8月より隣国ヨルダンからイラク支援を再開。バグダッドで薬物依存に走り始めた路上生活の子どもたちに「子ども自立支援プロジェクト」として就職斡旋と職業訓練、またファルージャでは破壊された学校を再建する「ファルージャ再建プロジェクト」をイラク人と共に進めている。

